

学校再編についての保護者との意見交換の概要

期 日	平成 24 年 8 月 23 日 (木)	時 間	19 : 00 から 20 : 20 まで
場 所	都井中学校 コンピュータ室		
出席者 (学校関係者を含む。)	28 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、教育総務係長		
No.	質 問	回 答	
1	学校の生徒数が減った場合、教職員数が減るといった話があった。市全体で考えた場合、減らされた教職員はどこに配置されるのか。	教職員の定数は市全体で決まるわけではない。学校の生徒数によって基本的に配置されている。	
2	親の負担になるのが通学方法だと思うが、具体的な案はあるのか。	現在、6 km を超える生徒については遠距離の通学補助を助成している。学校再編がどうなるのかによるが、基本的には 6 km を超える生徒についてはスクールバスを出すということを協議している。基本的に登校時に 1 便、下校時に 2 便を基本と考えている。また、休日や長期休業日には部活動、学校行事があるので柔軟な対応をしていく。スクールバスについては無償で考えている。	
3	学校再編をすることになった場合、何年後を考えているのか。	今年度を含めて少なくとも 3 年はかかるのではないかと考えている。	
4	地区の行事が入った場合、考慮してもらえるのか。	地域の文化を残すことは大事なことで考えているので、ぜひ地域の方の力も借りたい。総合的な学習の時間等のなかで郷土の芸能を学ぶことはできる。	
5	学校再編は既に決まっているのか。	審議会からの答申にあるように学校再編を進めるようにということであるので、その方針をもとに協議していく。	
6	小中一貫の選択は可能か。	教育委員会の議論の中では協議しているところである。今後も生徒数は増えないのでそのことも踏まえて協議していきたい。教育委員会としては、同じ世代の子どもがある一定の集団が形成されて切磋琢磨して伸びていくことは大事だと考えている。	

7	審議会のメンバーはどのような人がなっているのか。	福島高等学校の校長、小・中学校校長会長、PTA協議会会長・副会長、保育会の代表、自治会連合会の代表、商工会議所の代表、青年会議所の代表、学識経験者からなる13名の審議会である。
8	制服が変わることになるのか。	新しい学校を作っていくので、校歌や制服も検討していかないといけない。この部分は保護者も含めて決めていかないといけない。保護者の負担をできるだけかけないようにとあるので、極力避けないといけない。